

家とまちなみ

VOL.2 NO.1 1981/2



チュニスの集落

第3号

3

特集・橋本住宅祭シンポジウム

住財団 住宅生産振興財団



■表紙写真解説■

チュニスの集落

宮脇 檀

チュニジアの首都チュニスには、古くからのフランス保護領であった伝統を残し、現在でもフランス人達のための有数の保養地となっているが、一方では中近東諸国特有の文化とフランス型の文化とが混在している街である。

写真の地域はチュニス郊外、高級住宅地に囲まれた古い市場とその周辺の集落なのだが夏はギリシャのミコノスや南フランスのコートダジュール風にぎわうリゾートの場になっている。

地中海沿岸で良く見られる白壁に彩色された木部の開口部という手法が、この国・この街では特に徹底され、色彩は白と鮮やかなブルー2色しか無い。それでいて街が単調にならないのは、趣向をこらしてデザインされた扉や雨戸、格子、手摺という部分の多様さであり、屈曲し、登り降りする街路のサイトプランの自由な自然さが根底にあるからである。

家とまちなみ 第3号目次

表紙写真解説「チュニスの集落」

宮脇 檀 …… 2

住まいのアメニティを考える ……

大軒順三 …… 3

特集・橋本住宅祭シンポジウム ……

4

大都市圏の大規模開発に係わる住宅建設について

中西猛仁・三浦康文・秋元収弥
福井祐吉・竹内義治・富安秀雄
コーディネーター 高橋 茂

多摩ニュータウンに住宅展示場開設 ……

25

首都圏で初の財団住宅祭 ……

26

川島八幡団地住宅祭の準備すすむ
アンケート調査報告 ……

28

住宅祭来場者と住宅購入者の実態

里見建太郎

財団ニュース ……

37

コラム「まちなみ」 ……

38

編輯後記 ……

39